

都道府県名:北海道 氏名:安齋 保

地域

北海道上川郡下川町は、北海道の北部に位置し、総面積644 km²を有する内陸の町であり、明治34年に入植が始まって以降、天塩川水系名寄川の流域に沿って発展してきました。

町の産業としては、総面積の8割以上の森林を活用した林業が盛んに行われており、農業では酪農が盛んなほか、さやえんどう、アスパラガス、長ネギなどの栽培が行われています。

また、長年にわたり、治水安全度の向上や安定した水資源の確保が望まれていた当地域において、昭和63年度から整備が進められていたサンルダムが平成30年度に完成し、今後地域の活性化に大きく貢献することが期待されています。

略歴

昭和32年10月～平成 7年 6月 下川町役場職員

平成 7年 6月～平成10年12月 下川町助役

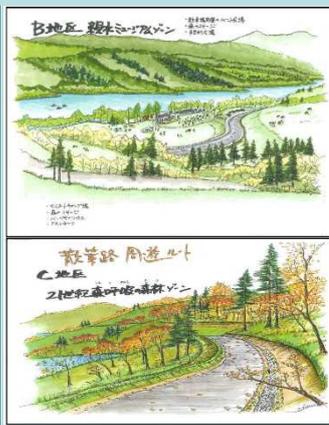
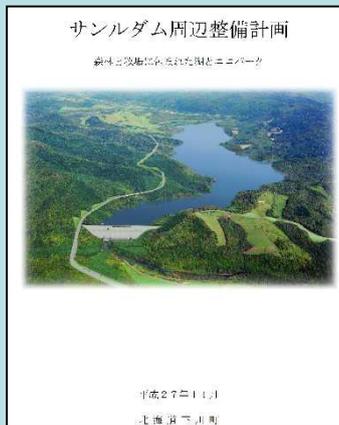
平成11年 5月～平成27年 4月 下川町長

功績内容

・氏は、平成11年に下川町長に就任して以来、16年間にわたりサンルダム建設事業の推進に積極的に協力され、流域の治水安全度の向上とともに水資源の開発に貢献された。

この間、町民意見を反映した「サンルダム周辺整備計画」の策定に尽力し、ダムの活用を具体化するとともに、流域住民が参加する各種植樹会を主催・後援され、地域の活性化とともに水源林の整備に尽力された。

・森林の継続的整備、資源の循環、安定的な雇用確保のため、60年サイクルでの持続的な伐採・植林を行う循環型森林経営を推進するとともに、「環境モデル都市」「環境未来都市」「森林総合産業特区」「バイオマス産業都市」等の政府のモデル地域として全国的にも先進的な取組や民間企業との連携、森林認証制度の取得などの取組を展開され、森林資源を活用した水源地域の持続的な地域づくりに尽力された。

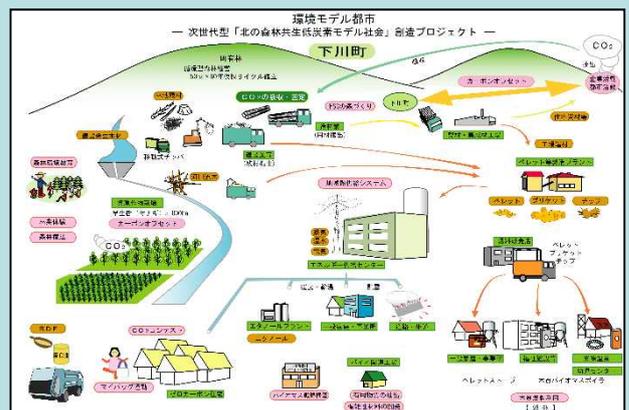


平成30年度に完成したサンルダム

ダムの活用を具体化したサンルダム周辺整備計画



流域住民によるダム上流域での植樹会



下川町の目指す「循環型森林経営」